



アートコミュニケーター

ながら

とは



岐阜県美術館を舞台に活動し、アートを通して生まれるコミュニケーションを大切に、

岐阜に生きる人や事柄と結びつきながら、人と人、人と作品、

人と文化を繋いでいく活動をするのがアートコミュニケーター(愛称「~ながラー」)です。

「~ながラー」には、「~しながら」と、岐阜に流れる「長良」川の2つの意味が込められています。

「~ながラー」は様々な背景を持った多様な人々を結びつけるコミュニティ作りに取り組んでいます。

「~ながラー」の活動は3年間です。

任期終了後には、美術館での学びや体験をそれぞれのコミュニティで発揮し、

新たな価値観や関係性を社会にひらいていきます。



館長のメッセージ

自分のペースでちゃんと関係性をとりながら、
自分のこととして引き受けながら、相手のことを考えながら。

コミュニケーションというのは当然一人ではできない。
相手があること。二人の間で「ながら」が生まれる。

一人よがりにならずに、
もう一つの存在と、対話しながら、関係性をとりながら。



岐阜県美術館長 日比野 克彦

←BINO.



◀ 「**ながら**」の活動公開中!

ぜひご覧ください!

~ながラーが《この舟のろう方式》で企画・制作した、
オンラインで楽しめるコンテンツを公開中!
美術館に対する思いや工夫が込められています。